

1: 出席者

加藤^a・大西^b・千葉・片山・能登・岡部・平林・大塚^c・内藤^c・セルゲイ^c・合川^{c,d}・吉田^c

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 特別会計「高度放射線測定技術による革新炉用原子核データに関する研究開発」において、JENDL, EXFOR のデータを統合的に検索、表示するシステムを、cgi を用いて作成することに決定した。複数のデータ形式があるので、共通形式のインデックスファイルを作成する。(加藤)
- 今年度 VBL 関連予算でコンピュータとプロジェクターを購入する。また、来年度 VBL 研究計画として、COE 研究員 4 名、Prof. Brink の招聘、希望があれば運営委員の派遣を、それぞれ申請する。(加藤)
- 北大内でドメインネーム"jeprg.org"の使用が許可された。(合川)

3: 議論

- コーディングファイルのレフェリー
運営委員会に合わせてのスケジュールでは進行が遅いので、メーリングリストを活用した議論を活発に行うようにする。運営委員会では全員での議論が特に必要だと思われるものに限る。
- D1764, D1777 のコーディングについて
D1764 に関連して、著者から頂いた論文にないデータを、データベースに登録する。D1777 の反応に関しては、可能な限り論文中の表現を用いることとし、不明な点は著者に尋ねる。
- コードの追加・修正・削除
追加：DELTA-YLD, PB (picobarn), DELTA-ENGY-EMT-1-LAB, DELTA-ENGY-EMT-2-LAB,
MAG+MWDC+CRNKOV, IC (ionization chamber)
修正：SELF (展開型を self-backing から self-supported に変更)
削除：SURF-BARR-DET (SBD との重複)
- 年次報告書
これまでの継続として発行する。北見工業大学の久保氏の修士論文(20~30 ページ)を掲載する。検索の簡易マニュアル(2~3 ページ)を掲載する。

4: 次回

2003 年 2 月 28 日 18:30~